

わがまちの
「ちよつといい話」
NO. 10
「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○輪を広げる！

「ちよつといい話」

の七・八号で「月美・みどり会」の取り組みを紹介しました。二月は二十一日に行われました。この日は土曜日で、学校は休みです。

月美町や緑町の小学生や中学生も、お年寄りや落ち葉掃きをできないだろうか？時間の空いている子はいないだろうか？さつそく、小・中学校にお話し、子ども達に清掃が行われることを伝えていただきました。

○輪の広がりには心はずみ！

当日は、推進会議のメンバーも二名参加しました。九時前でしたが、すでに活動が始まっていました。遠くに目をやると、お年寄りの姿に交じって二組のお母さんと小学生や小さな子どもの姿が目に入りました。地域の一・三・



世代のかかわりを
少しずつ はぐくむ！

○任せっぱなしは？

みんなが地域で共に生きるには、地域のことに関心をもち、時間があれば参加するかかわりが必要です。

「月美・みどり会」の皆さんに清掃をやってもらっています。無関心で任せっぱなしにしないで、時には一緒に取り組む。それが、地域のコミュニケーションをはぐくみます。さらに、地域の一員としての役割を果たすこととなります。

○新たな顔見知り！

掃除後、お茶をいただきながら、ひと休みしました。「何年生かね。」「どこ

六年生と幼稚園に通う四名の子ども達でした。初めは、お母さんのまわりで掃除をしていた子ども達も、やがて少しずつ離れ、お年寄りの中に入って掃除する姿も見られました。

のお家かね。」と話は広がる。日頃、同じ地域に住んでいても、あまり話さないお年寄りや子ども達や若いお母さん方が、お年寄りや顔をあわせて語り合います。共に活動したり話したりすることにより、心のかかわりが生まれる。声をかけあい言葉を交わす中で、顔見知りの関係が深まります。地域での新たな人のつながりが生まれます。



地域子ども達とお年寄りが
取り組む落ち葉掃き（緑町）